

令和2年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	デザイン思考に基づく中小企業のための経営・生産革新セミナー ～リーンスタートアップ、工場のスマート化検討～
実施日時	① 令和2年10月 9日（金） 18:00～21:00
	② 令和2年10月23日（金） 18:00～21:00
	③ 令和2年11月 6日（金） 18:00～21:00
	④ 令和2年11月20日（金） 18:00～21:00（計12時間）
募集定員	6人
募 集 対 象	対象職種：なし
	受講に必要なレベル：新しいビジネス・製品・サービス提案や工場のスマート化をお考えの方
注 意 点	中小企業のための生産改善・革新セミナー(1)～(6)を担当する教員がこれまでの企業との関わりの中で得られた知見に基づき、新しいビジネス・製品・サービス、工場のスマート化について受講生と一緒に考える講座です。
講 座 内 容	<p>生産性向上とは効率化だけでなく、高付加価値化が不可欠となります。この講座を担当する講師が開講する公開講座「生産改善・革新セミナー」では6講座のうち「人間工学・UX」を除く5つの講座は効率化に重点をおいています。そこで、この講座では高付加価値化と効率化の両方をバランスよく捉えます。</p> <p>この講座では、近年の様々な情勢などについて情報共有を行い、IoT・ICTなどのデジタル技術や協働ロボットなどのテクノロジーを活用した新しいビジネス・製品・サービスの創出と提案について担当講師と考えます。手法として、近年注目されているリーン・スタートアップやリーン・アントレプレナーを紹介します。ここで使われているリーンとは、リーン生産方式のリーンに由来しており、生産改善の考え方で非常に親和性が高くなっており、生産改善に取り組まれていた方には馴染みのある考え方を基盤としています。また、効率化については、地域の中小企業の工場のスマート化を図る際、自動化・ロボット化やIoT化をどう進めるべきか、またどのような技術が活用できるかを検討します。</p>
目 標	新しいビジネス・製品・サービスや工場のスマート化を考えるきっかけとする。
履 修 項 目	<p>以下の項目について受講生と担当講師とのディスカッションを通して考える。</p> <p>①近年の社会情勢・経済状況の変化 ②山形・東北地域の経済情勢 ③今後の製造業、サービス業、農業など様々な産業の可能性 (Industry4.0、Society5.0) ④デザイン思考 ⑤小ロットで考えるリーン・スタートアップ ⑥協働ロボットやIoT 便利ツールの紹介と工場への導入検討 ⑦ビジネス・製品・サービスの検討</p>
使用装置	特になし
受 講	受講料：6,000円（12時間コース）

費用	自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）					
講座費用	報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
その他	<p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門課程での単位互換はない。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「起業論」の受講を一部免除する。 <p>○ 講師と講座について</p> <p>担当する講師は大学・大学院（修士課程・博士課程）で経営工学を専攻し、その後10年以上にわたり様々な産業の現場の改善に取り組んできています。また、ものづくり現場の効率化に重きを置いた公開講座を10年以上開講し、延べ700名近い方が受講しています。</p>					